

# 環境保全計画書 作成の手引き

瀬戸市 市民生活部 環境課

平成 20 年 2 月

# 環境保全計画書・注釈

A4判で作成します(図面は、原則としてA3判とします)。  
このように表紙をつけ、フラットファイル等に綴ります。

○ ○ ○ ○ 株 式 会 社

△ △ △ △ 工 場

環 境 保 全

事業所の名称を記載します。  
本社の場合は、「本社工場」、「本社」などとします。

環境保全計画書を作成した年  
月を記載します。

平成 年 月

目次

	頁
見やすいように目次をつけます。 増設などの事前協議の場合に、差し替えが必要な際にもわかりやすいように、ページ数をつけるようにします。	
(3) 設備投資	
(4) 使用水量等	
(5) 電力・燃料使用量	
(6) 主な原材料・生産品	
(7) 生産工程	
(8) 生産設備等	
(9) 搬入・搬出車両数	
2. 環境保全対策	
(1) 基本方針	
(2) 環境保全体制	
(3) 水質関係	
(4) 騒音・振動関係	
(5) 大気関係	
(6) 悪臭関係	
(7) 地盤沈下関係	
(8) 土壌汚染関係	
(9) 廃棄物関係	
(10) 特定化学物質関係	
(11) 地球温暖化防止関係	
(12) 啓発・教育関係	
(13) 緊急時の対応	
(14) 緑化関係	

これらの項目は、すべて必須項目です。  
該当する施設がない場合にも、「〇〇する工程等がないため、××関係施設はありません」などと記載します。

(注) 本書では、関係法令等を以下のように略している場合があります。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染防止法</li> <li>・ばい煙発生施設</li> <li>・揮発性有機化合物発生施設</li> <li>・騒音規制法</li> <li>・振動規制法</li> <li>・悪臭防止法</li> <li>・土壌汚染対策法</li> <li>・水質汚濁防止法</li> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> </ul>	<p>環境保全計画書中で、法令名などを記載する場合には、このように凡例をつけた上で、略しても構いません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の生活環境の保全等に関する条例</li> <li>・ばい煙発生施設</li> <li>・粉じん発生施設</li> <li>・騒音発生施設</li> <li>・振動発生施設</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>「条例」 (ばい煙) (粉じん) (騒) (振)</p>
--	--	---	---

添付図面・資料

番号	
1-1	
1-2-1	
1-2-2	
1-2-3	建築物立面図
1-3	生産フロー
1-4	生産設備等のリスト
2	環境保全体制
3-1	污水处理フロー
3-2	水処理施設の配置図
3-3-1~2	水処理施設の構造図、仕様書等
3-4	排水経路図
4-1	騒音・振動施設の配置図
4-2-1~3	騒音・振動施設の構造図、仕様書等
4-3-1~3	騒音・振動防止の方法
5-1	大気汚染関係施設の配置図
5-2-1~2	大気汚染関係施設の構造図、仕様書等
5-3-1~2	大気汚染関係施設の公害防除機器の構造図、仕様書等
6-1	悪臭を発生する施設の配置図
6-2	悪臭を発生する施設の構造図、仕様書等
7-1	揚水設備の配置図
7-2	揚水設備の構造図、仕様書等
8	土壌汚染調査 計量証明書
9-1	廃棄物発生フロー
9-2	廃棄物の保管場所
10	事故時の組織体制
11	緑地平面図

添付する図面や資料は、このように番号を付して表にします。  
目次と同様、後日、差し替えが必要となった際にわかりやすいようにまとめます。

1. 事業所の計画

(1) 会社の概要

本社  
本社所在地  
代表者氏名  
連絡先  
  
資本金  
業種  
  
総従業員数

登記してあるものと同じものを記載します。

〇〇〇株式会社  
〇市△△町××  
代表取締役 □  
△△支店□□課長 〇〇〇〇  
電話〇〇-  
〇〇〇〇〇  
××業  
××業  
××業  
〇〇人

事業所の責任者等、この環境保全計画の内容についての責任者を記載します。

日本標準産業分類に従って記載します。  
複数の事業がある場合は、主なものから3種類程度を記載します。

事業所において常時従事する従業員の総数を記載します。

(2) 事業所の概要

建設予定場所  
用途地域  
建設予定地の周辺図  
  
敷地面積  
建築面積  
建ぺい率

戸市△△町××番地  
〇〇地域

建設(増設)にかかる工事の予定期間を記載します。  
増設などで、差し替える場合には、  
「(当初設置工事) 〇年〇月～〇年〇月  
(××増設工事) 〇年〇月～〇年〇月」  
のように記載します。

工事予定期間  
操業開始予定年月

平成△△年〇〇月～平成△△年〇〇月  
平成△△年〇〇月

事業内容

事業所が扱う事業を記載します。

□□□□□の製造  
□□□□□の組立て  
□□□□□の展示及び販売  
その他上記に係る事務

操業日・時間

月曜日～土曜日(ただし、第2・4土曜日は休業)  
8:30～17:15

建築物の配置等

配置  
平面図  
立面図 別添1-2-3

部門ごとに操業時間が異なる場合は、それぞれに分けて記載します。

(3) 設備投資

	金 額
土地	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
建屋建築費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
機械類購入費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
環境保全対策費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
うち 公害対策費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
緑化費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
その他	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
その他 ( )	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
合 計	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円

建設(増設)に要する費用をこれらの区分ごとに記載します。

(4) 使用水量等

水源別用水量

	使用量
上水道	〇〇m <sup>3</sup> /日
地下水	〇〇m <sup>3</sup> /日
その他 ( )	〇〇m <sup>3</sup> /日
合 計	〇〇m <sup>3</sup> /日

事業所で通常使用する水について、水源別に記載します。

用途別用水量

	使用量
原料水	〇〇m <sup>3</sup> /日
ボイラー用水	〇〇m <sup>3</sup> /日
冷却用水	〇〇m <sup>3</sup> /日
雑用水	〇〇m <sup>3</sup> /日
その他 ( )	〇〇m <sup>3</sup> /日
合 計	〇〇m <sup>3</sup> /日

事業所で通常使用する水について、用途別に記載します。

(5) 電力・燃料使用量

区		使用量
電力使用量		〇〇kwh
燃料 使用 量	重油	〇〇ℓ/日
	灯油	〇〇m <sup>3</sup> /日
	ガス（都市ガス）	〇〇m <sup>3</sup> /日
	ガス（LPG）	〇〇m <sup>3</sup> /日
	その他（ ）	〇〇m <sup>3</sup> /日

事業所で使用する電力・燃料について、通常使用する量を記載します。

(6) 主な原材料・生産品

原材料

種	量
木材	〇〇 t/月
接着剤	〇〇 t/月
塗料	〇〇 t/月
…	
…	

事業所での生産工程で、通常使用する原材料と、生産される品目について、記載します。

生産品

種 類	生産量
△△部品	〇〇 t/月
××部品	〇〇 t/月
□□部品	〇〇 t/月
…	
…	

(7) 生産工程

△△部品 別添 1 - 3  
 ××部品 〃  
 □□部品 〃

(8) 生産設備等

別添 1 - 4



(9) 搬入・搬出車両数

搬入車両

種 類	数
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トンローリー	〇台/日
...	
合 計	〇台/日

事業所が搬出入に使用する車両について、平均的な車台数を記載します。

搬出車両

種 類	台 数
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トンローリー	〇台/日
...	
合 計	〇台/日



(3) 水質関係  
水質汚濁関係

設備を管理するために社内で使用している名称などを記載します。  
図面の符合などで表示しても良いでしょう。

名称	水洗ブース	浄化槽	...	
種類	金属製品製造業の 廃ガス洗浄施設	浄化槽		
能力等	形式	□□製 ××タイプ		
	能力	20人槽		
	汚水等の 汚染状態、 量	PH ××～×× BOD ××mg/l COD ××mg/l SS ××mg/l ... ××mg/l	汚水量 ××m <sup>3</sup> /日 PH ××～×× BOD ××mg/l COD ××mg/l SS ××mg/l ... ××mg/l	
	処理する前の水について、水質や水量などを記載します。	活性汚泥処理		
	構造図、仕様書等	別添3-3-1	別添3-3-2	
法令による規制	特定施設（水濁法施行令）	なし		

法令等の該当がわかるような一般的な名称を記載します。

処理する前の水について、水質や水量などを記載します。

法令による規制の有無を記載します。

規制値・保証値

区分		排水口A		排水口B	
排水量		△△m <sup>3</sup> /日		△△m <sup>3</sup> /日	
水質		規制値	保証値	規制値	保証値
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)		5.8~8.6		○~○
	生物学的酸素要求量 (BOD)		20		××
	化学的酸素要求量 (COD)		20		××
	浮遊物質 (SS)		20		××
	ノルマルヘキサン抽出物質 (鉱油類含有量)		2		××
	〃 (動植物油類含有量)		10		××
	フェノール類含有量		0.5		××
	銅含有量		1		××
	亜鉛含有量				××
	溶解性鉄含有量				××
	溶解性マンガン含有量				××
	クロム含有量		1		××
	大腸菌群数		日間平均1,500		××
窒素含有量		60		××	
りん含有量		8		××	

排水の基準について、規制値、保証値を記載します。

汚水処理フロー

別添3-1

施設の配置図

別添3-2

用水・排水の経路図・排水口位置

別添3-3

(4) 騒音・振動  
騒音・振動

設備を管理するために社内で使用している名称などを記載します。  
図面の符合などで表示しても良いでしょう。

名称	平面研削機	集塵用ブロワ	汚水処理用ブロワ	...
種類	金属加工機械 (研磨機)	送風機	送風機	
台数	法令等の該当がわかるような一般的な名称を記載します。			1
能力等	形式	□□製 △-△型		
	能力	15kw	37.5kw	3.7kw
	騒音レベル	85dB(機側 1m)	85dB(機側 1m)	75dB(実測)
構造仕様書等	法令等の該当がわかるように、定格出力や型式などについて、ある程度詳しく記載します。			(機側 1m) 60dB(実測)
法令による規制	条例(騒)	騒規法	条例(騒)	条例(振)
	法令による規制の有無を記載します。			

規制値・保証値

騒規法 規制値		保証値	予測値
敷地境界	8 ~ 19時	70 dB	65 dB
	19 ~ 22時	65 dB	51 dB
	6 ~ 8時		48 dB
	22 ~ 翌6時		
振規法 規制値			予測値
敷地境界	7 ~ 20時	70 dB	65 dB
	20 ~ 翌7時	65 dB	60 dB

騒音の基準について、規制値、保証値を記載します。  
可能であれば、予測値や実測値も記載します。

施設の配置図

別添 4-1

騒音・振動防止の方法

- 研磨機 別添 4-3-1 に記載。
- 送風機 (集じん機用) 別添 4-3-2 "。
- 送風機 (汚水処理用) 別添 4-3-3 "。

(5) 大気関係  
大気汚染関係

設備を管理するために社内で使用している名称などを記載します。  
図面の符合などで表示しても良いでしょう。

名称	ボイラー	塗装ブース	...
種類	ボイラー (炉筒煙管方式)	塗装施設	
能力等	形式	□□製 ××型	
	能力等	寸法 L 3m H 2.5m D 3.3m 送風機の送風能力 120,000 m <sup>3</sup> N/hr	
	排出ガス量	5m (口径 50cm×60cm)	
構造図、仕様書等	別添 5-2-1	別添 5-2-2	
法令による規制	大防法 (ばい煙)	大防法 (VOC)	
大気汚染防止の方法	マルチサイクロン	下記の機器を設置する。 水洗スクラバー 製 △-456 型 量 ○m <sup>3</sup> /min 率 ××% は、 3-2 のとおり	

法令等の該当がわかるような一般的な名称を記載します。

法令等の該当がわかるように、燃焼能力や排出ガス量などについて、ある程度詳しく記載します。

法令による規制の有無を記載します。

公害防止の方法は、騒音・振動の例のように図面に記載するほか、このように、表中に記載しても良いでしょう。  
機器を用いて防除する場合には、機器の名称や能力を記載し、仕様書等を添付します。

規制値・保証値

大防法		規制値	保証値
ボイラー	ばいじん	×× mg/m <sup>3</sup> N	0.1g/m <sup>3</sup> N
	硫黄酸化物	×× mg/m <sup>3</sup> N	50ppm
	窒素酸化物(O <sub>2</sub> 換算濃度)	150(4%)ppm	80(4%)ppm
有害物質	○○○	×× mg/m <sup>3</sup> N	×× mg/m <sup>3</sup> N
	×××	×× mg/m <sup>3</sup> N	×× mg/m <sup>3</sup> N
	...	...	...
他に規制値のある有害物質があれば、記載します。		400ppmC	300ppmC

排出ガスの基準について、規制値、保証値を記載します。

他に規制値のある有害物質があれば、記載します。

大気汚染関係施設の配置図

別添 5-1

(6) 悪臭関係

悪臭を発生

設備を管理するために社内で使用している名称などを記載します。  
図面の符合などで表示しても良いでしょう。

名 称	塗装ブース	…	…
備 考	悪臭物質等	トルエン等の有機溶剤	
	使用量	〇〇kg/月	
	排気量	〇〇m <sup>3</sup> /min	
構造 仕様	どのような悪臭がどの程度発生する可能性があるの かがわかる程度に設備の内容について記載します。		

施設の配置図

別添 6 - 1

悪臭防止の方法

塗装施設

排ガス洗浄装置及びミスト除去フィルターを設置  
臭気の少ない水性塗料への転換を検討している。

規制値・保証値

悪防法 規制値		保証値
敷地境界	臭気指数 1.8	臭気指数 1.5

(7) 地盤沈下関係

揚水設備

設備を管理するために社内で使用している名称などを記載します。  
図面の符合などで表示しても良いでしょう。

名 称	用途	揚水量	揚水機設置面積	ストレーナ位置
井戸 No.1	雑用水	〇〇m <sup>3</sup> /日	〇〇m <sup>2</sup>	〇〇m
井戸 No.2	雑用水	〇〇m <sup>3</sup> /日	〇〇m <sup>2</sup>	〇〇m
…				
…				
…				

設備の配置図

別添 7 - 1

設備の構造図

別添 7 - 2



(9) 廃棄物関係

廃棄物の種類・量・処理の方法

区分	種類	発生量	処理方法
法令上の廃棄物の区分を記載します。	紙くず	事業所で一日あたりに通常発生する廃棄物の量を記載します。	〇〇〇株式会社に処理委託
	残渣		〇〇〇株式会社に処理委託
産業廃棄物	金属くず	〇〇kg/月	〇〇〇株式会社に売却
〃	廃油（切削廃油）	〇〇kg/月	△△株式会社に処理委託
〃	廃プラスチック	〇〇kg/月	株式会社×××に処理委託
特別管理産業廃棄物	廃酸・廃アルカリ	〇〇kg/月	〇〇〇株式会社に処理委託
...			

上の表に記載した種類ごとに廃棄物の保管方法を記載します。

種類	保管方法
紙くず	保管室 X に保管
食品残渣	集積場所 Y に保管 (種類ごとにコンテナを使用)
金属くず	〃
廃油	〃
廃プラスチック	〃
廃酸・廃アルカリ	ケミカルドラム缶に保管
...	

廃棄物の発生・処理フロー 別添 9-1

廃棄物の一時保管の場所 別添 9-2

廃棄物の減量・再生利用に  
基本的方針

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

廃棄物の減量、発生抑制、再利用などについて、事業所の目標を記載します。  
 法律等の基準を遵守することはもちろん、継続的に達成を目指す、企業としての具体的な方針を記載してください。

具体的取組み

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

上記の基本的方針を具体化する企業の取組みを記載してください。







## 1 - 1 周辺地図

周辺環境（住宅の有無や戸数、河川や用水路への接続など）が判る程度の尺度の地図を添付します。

1 - 2 - 1 建築物配置図

敷地内に建築物がどのように配置されているかが判る図面を添付します。  
建築確認申請などに用いる図面の写しでも良いでしょう。

1 - 2 - 2 建築物平面図

敷地内の平面図を添付します。  
建築確認申請などに用いる図面の写しでも良いでしょう。  
建築物が複数ある場合は、数ページにわたっても差支えありません。

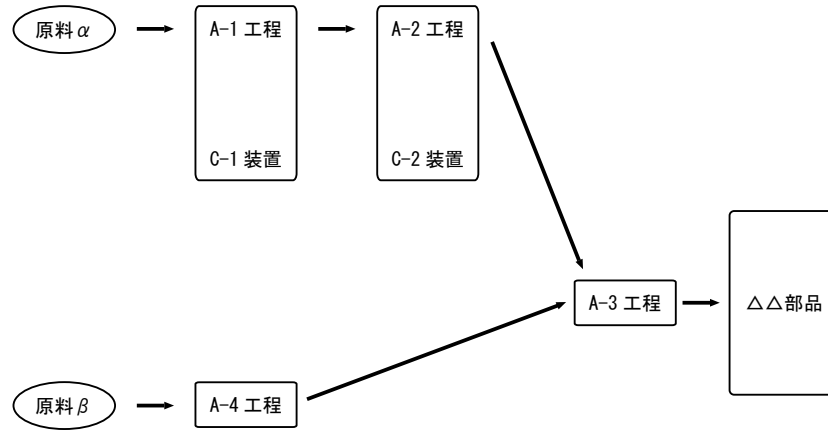
### 1 - 2 - 3 建築物立面図

敷地内の立面図を添付します。  
建築確認申請などに用いる図面の写しでも良いでしょう。  
建築物が複数ある場合は、数ページにわたっても差支えありません。

### 1-3 生産フロー

生産の流れを示す図を添付します。  
汚水の処理や廃棄物の発生を把握する基礎とするものですので、  
ある程度詳細に記載する必要がありますが、  
企業機密にわたる事項までは記載する必要はありません。

(例) △△部品生産フロー

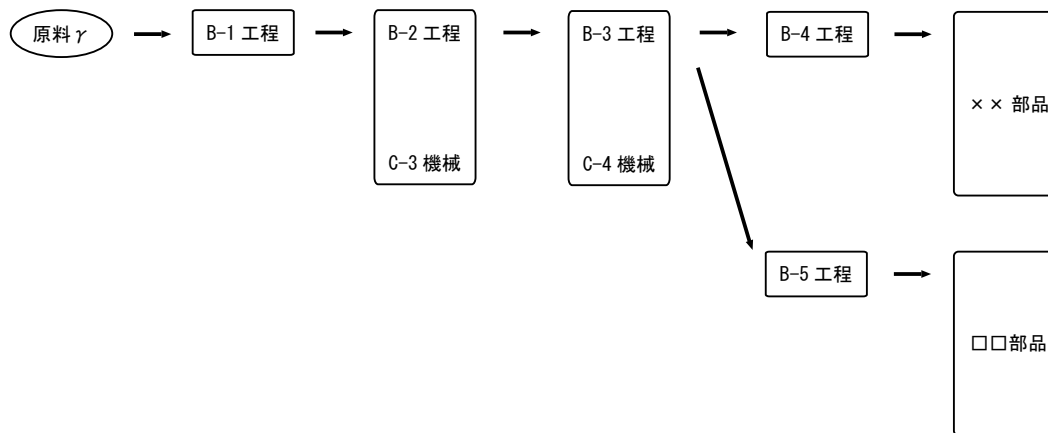


説明  
A-1工程…

A-2工程…

・  
・  
・

××部品・□□部品生産フロー



## 1-4 生産設備等のリスト

(例)

符号	設備の名称	数	能力等	用途	該当法令
1	加熱炉	5	変圧器定格：250kVA	焼入焼戻	大防法（ばい煙）
2	塗装施設	2	送風機の送風能力 120,000 m <sup>3</sup> N/h	塗装	大防法（VOC）
3	研磨機	2	原動機の定格出力 15kw	金属研磨用	条例（粉じん） 条例（騒）
4	圧縮機	1	原動機の定格出力 4kw	動力	条例（騒・振）
5	乾式集じん機	2	送風機：37kw×2台 ろ過速度：1.1m/min	アルミ溶解炉	騒規法 条例（振）
6	湿式スクラバー	2	処理風量：300 m <sup>3</sup> /min 排水量：2 m <sup>3</sup> /回	〃	水濁法
7	浄化槽	1	300人槽	事務所・食堂	水濁法 浄化槽法
8	汚泥脱水機	1	処理能力：20 m <sup>3</sup> /日	汚泥脱水	廃掃法
9	ボイラー（吸収式冷温水発生器）	1	燃料：A重油 伝熱面積：45 m <sup>2</sup> 燃焼能力：450ℓ/h 煙突高さ：20m	冷暖房	大防法（ばい煙）
10	送風機	1	3.75kw	汚水処理	条例（騒・振）

生産設備についてのリスト。

製品の生産に使用される設備のほか、それらに付帯する設備について記載します。

符号の欄には、

施設を管理するために社内で使用している符号や名称を記載します。図面の符合などで表示しても良いでしょう。

設備の名称の欄には、

法令等の該当がわかるような一般的な名称を記載します。

能力等の欄には、

法令等の該当がわかるように、定格出力や排水量などの能力を記載します。

該当法令の欄には、

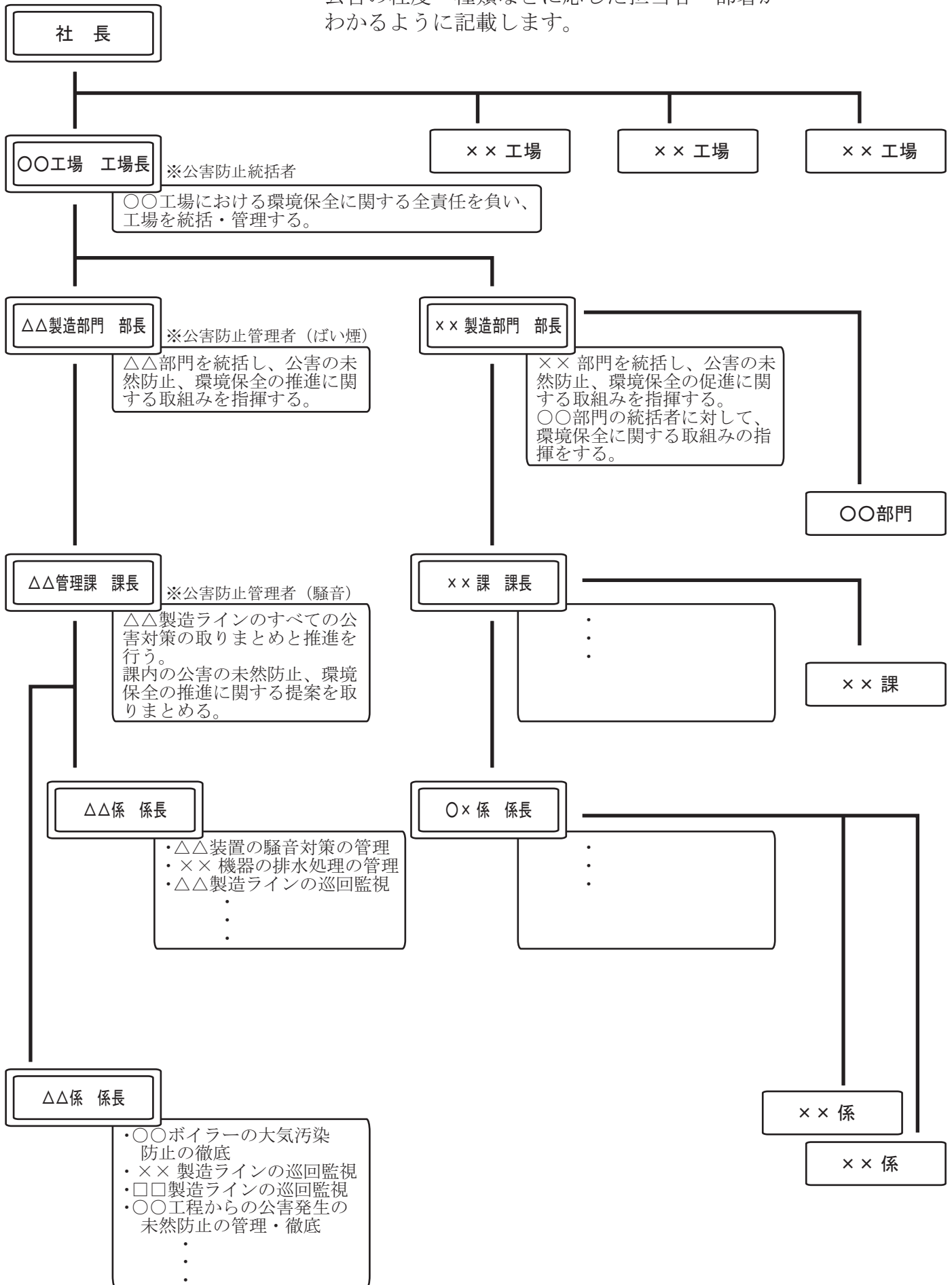
該当する法令名（略称）を記載します。



## 2 環境保全体制

(例)

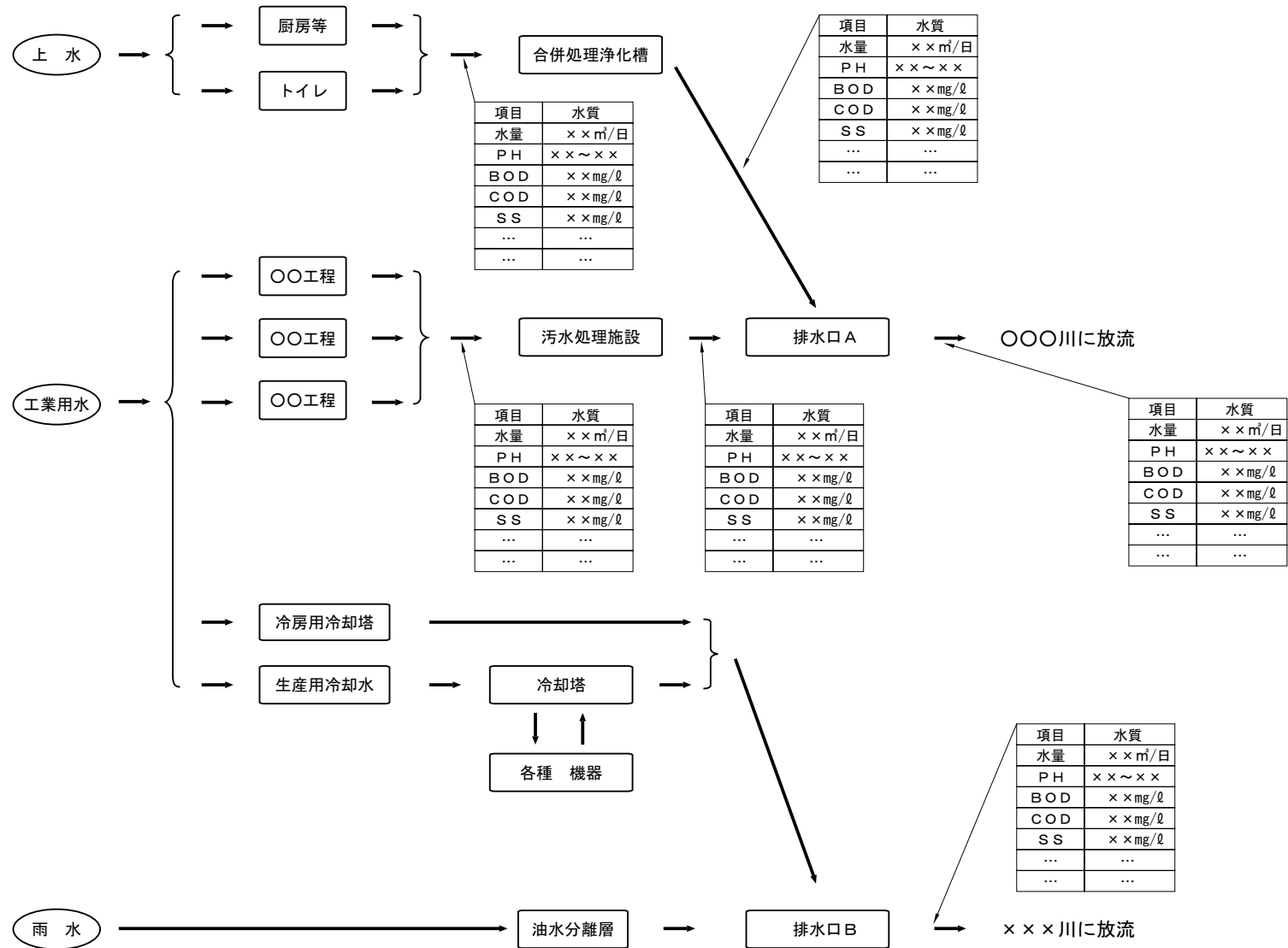
公害防止・環境保全のための組織体制図を添付します。  
組織の大小によって記載方法は異なりますが、  
公害の程度・種類などに応じた担当者・部署が  
わかるように記載します。



### 3-1 汚水処理フロー

汚水処理の流れを示す図を添付します。  
 水源から発生工程、放流先までを図示します。  
 また、各発生工程での水質や、放流時の水質（保証値）も記載します。

(例)



### 3-2 水処理施設の配置図

水処理施設の配置を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して水処理施設がわかりやすいようにしてください。

3-3-1 水処理施設の構造図、仕様書等

3-3-2 //

水処理施設(浄化槽を含む。)の構造を示した図面、  
カタログ、仕様書、計算書等を添付します。

### 3-4 排水経路図

水処理施設から排水口までの経路を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して排水経路がわかりやすいようにしてください。  
また、水処理施設の配置図（3-2）上に排水経路を示した上で、  
一つの図面にまとめても良いでしょう。

#### 4-1 騒音・振動発生施設の配置図

騒音・振動発生施設の配置を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して騒音・振動発生施設がわかりやすいようにしてください。

4－2－1 騒音・振動発生施設の構造図、仕様書等

4－2－2 //

4－2－3 //

騒音・振動発生施設の構造を示した図面、カタログ、仕様書、計算書等を添付します。

4－3－1 騒音・振動防止の方法

4－3－2 //

4－3－3 //

騒音・振動の防止方法を示した図面等を添付します。



## 5-1 大気汚染関係施設の配置図

大気汚染関係施設の配置を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して大気汚染関係施設がわかりやすいようにしてください。

5-2-1 大気汚染関係施設の構造図、仕様書等

5-2-2 //

大気汚染関係（ばい煙、粉じん、VOC等）施設の構造を示した図面、カタログ、仕様書、計算書等を添付します。

5－3－1 大気汚染関係施設の公害防除機器の構造図、仕様書等

5－3－2 //

大気汚染を防除するために設置する防除機器の構造を示した図面、カタログ、仕様書、計算書等を添付します。

## 6-1 悪臭を発生する施設の配置図

悪臭を発生する施設の配置を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して悪臭を発生する施設がわかりやすいようにしてください。

## 6－2 悪臭を発生する施設の構造図、仕様書等

悪臭を発生する施設の構造を示した図面、カタログ、仕様書、計算書等を添付します。

## 7-1 揚水設備の配置図

揚水設備の配置を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して揚水設備がわかりやすいようにしてください。

## 7－2 揚水設備の構造図、仕様書等

揚水設備の構造を示した図面、カタログ、仕様書、  
計算書等を添付します。

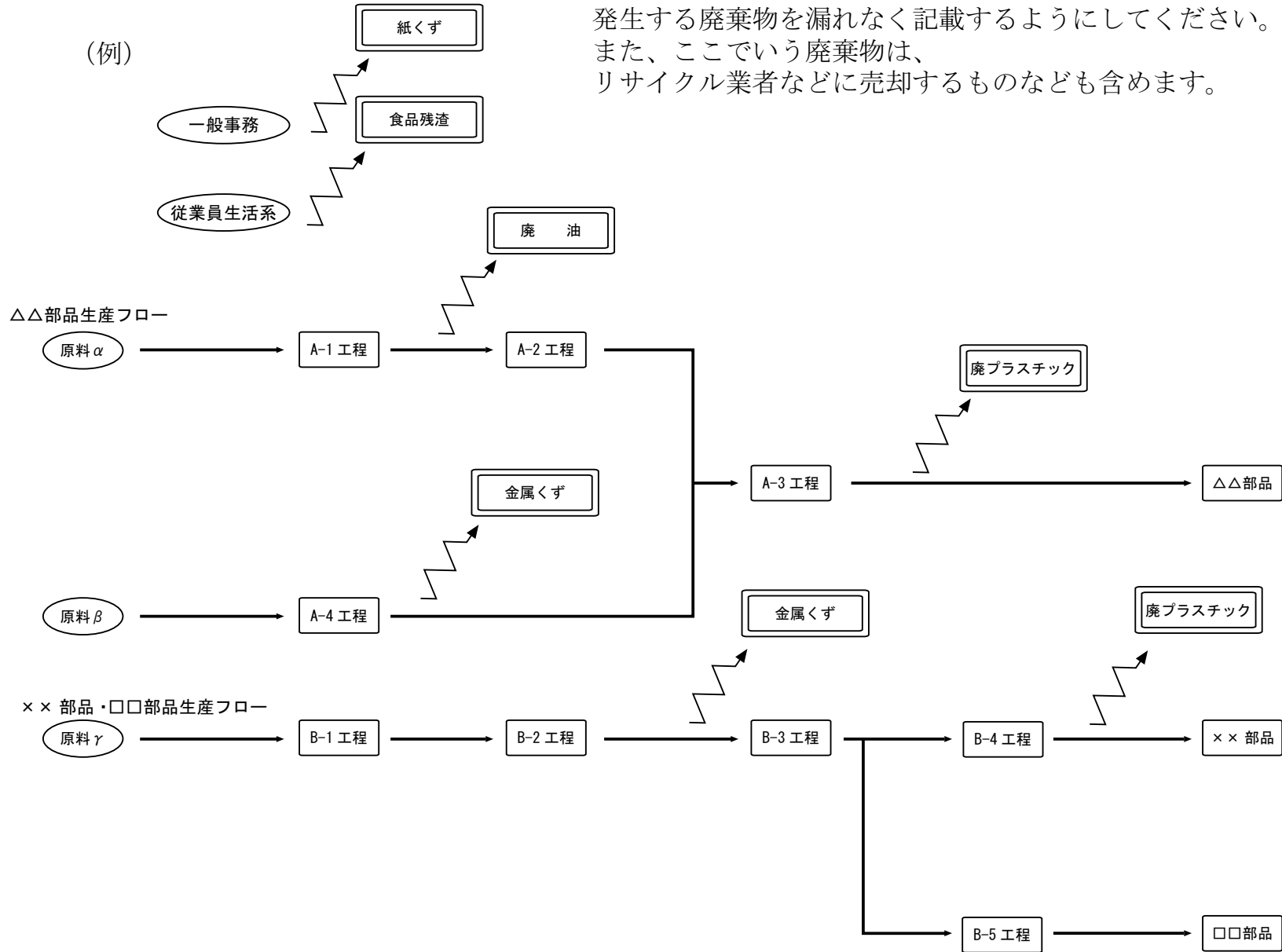
## 8 土壤汚染調査 計量証明書

土地取得にあたって実施した土壤汚染調査等の計量証明書の写しを添付します。



### 9-1 廃棄物発生フロー

(例)



廃棄物の発生の流れを示す図を添付します。

生産フロー（1-3）を基礎として作成すると良いでしょう。

生産フローと同様、企業機密にわたる事項までは記載する必要はありませんが、発生する廃棄物を漏れなく記載するようにしてください。

また、ここでいう廃棄物は、

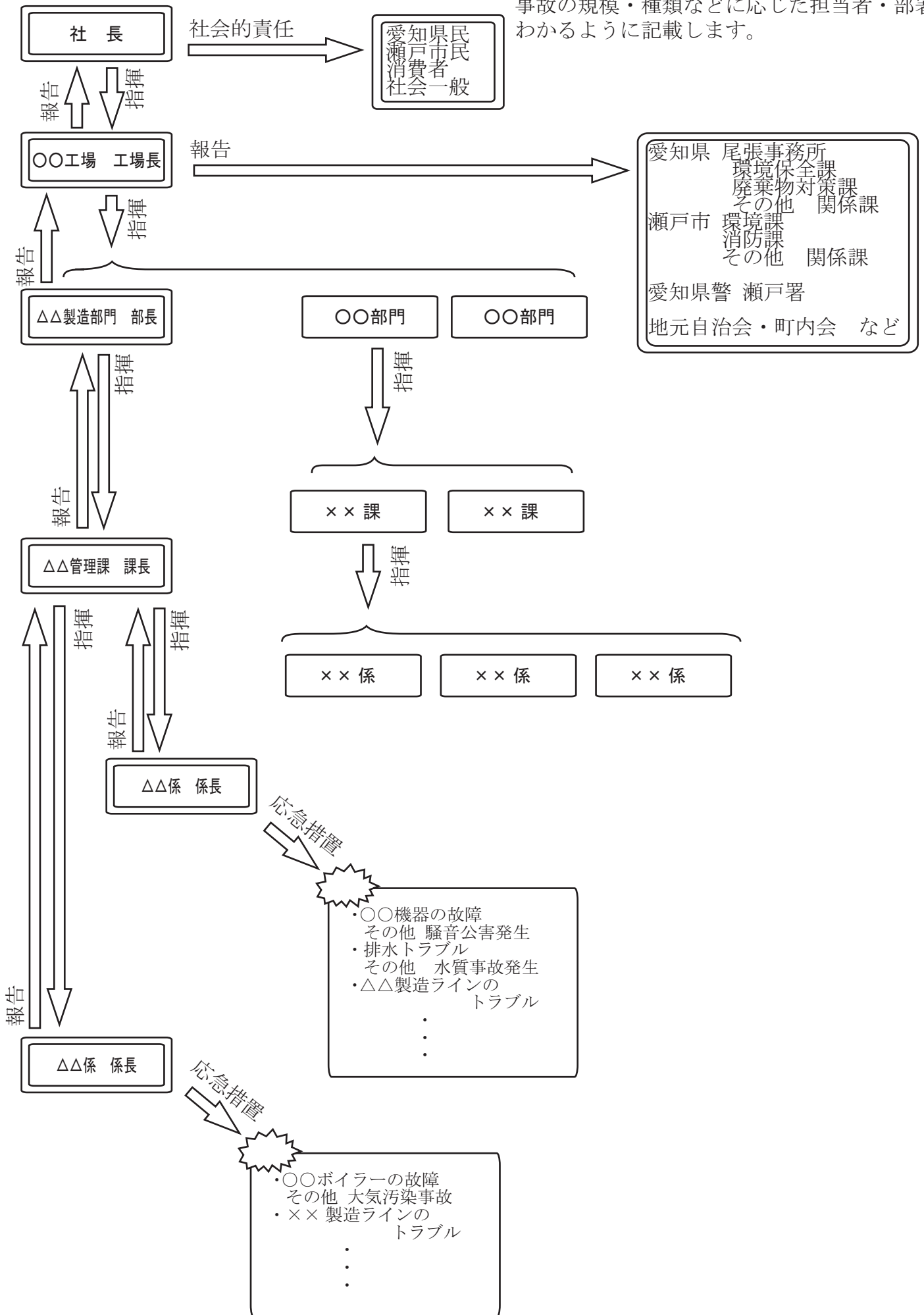
リサイクル業者などに売却するものなども含めます。

## 9-2 廃棄物の保管場所

廃棄物の保管場所の配置を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して保管場所がわかりやすいようにしてください。

# 10 事故時の組織体制 (例)

事故など緊急時の組織の連絡体系を示した図を添付します。  
組織の大小によって記載方法は異なりますが、  
事故の規模・種類などに応じた担当者・部署が  
わかるように記載します。



## 1 1 緑地平面図

敷地内の緑地の配置を示した平面図を添付します。  
建築物配置図（1-2-1）に加筆して作成すると良いでしょう。  
その場合、不要な記号線などは消して緑地がわかりやすいようにしてください。  
また、緑地の種類（芝生、樹木など）も付記してください。

# 環境保全計画書・作成見本

○ ○ ○ ○ 株 式 会 社

△ △ △ △ 工 場

環 境 保 全 計 画 書

平成 年 月

## 目次

項目	頁
1. 事業所の計画	
(1) 会社の概要	
(2) 建設計画の概要	
(3) 設備投資	
(4) 使用水量等	
(5) 電力・燃料使用量	
(6) 主な原材料・生產品	
(7) 生産工程	
(8) 生産設備等	
(9) 搬入・搬出車両数	
2. 環境保全対策	
(1) 基本方針	
(2) 環境保全体制	
(3) 水質関係	
(4) 騒音・振動関係	
(5) 大気関係	
(6) 悪臭関係	
(7) 地盤沈下関係	
(8) 土壌汚染関係	
(9) 廃棄物関係	
(10) 特定化学物質関係	
(11) 地球温暖化防止関係	
(12) 啓発・教育関係	
(13) 緊急時の対応	
(14) 緑化関係	

(注) 本書では、関係法令等を以下のように略している場合があります。

・大気汚染防止法	「大防法」	・県民の生活環境の保全等に関する条例	「条例」
ばい煙発生施設	(ばい煙)	ばい煙発生施設	(ばい煙)
揮発性有機化合物排出施設	(VOC)	粉じん発生施設	(粉じん)
・騒音規制法	「騒規法」	騒音発生施設	(騒)
・振動規制法	「振規法」	振動発生施設	(振)
・悪臭防止法	「悪防法」	・	
・土壌汚染対策法	「土対法」	・	
・水質汚濁防止法	「水濁法」	・	
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	「廃掃法」		

## 添付図面・資料

番号	図面・資料名称
1-1	周辺地図
1-2-1	建築物配置図
1-2-2	建築物平面図
1-2-3	建築物立面図
1-3	生産フロー
1-4	生産設備等のリスト
2	環境保全体制
3-1	污水处理フロー
3-2	水処理施設の配置図
3-3-1~2	水処理施設の構造図、仕様書等
3-4	排水経路図
4-1	騒音・振動施設の配置図
4-2-1~3	騒音・振動施設の構造図、仕様書等
4-3-1~3	騒音・振動防止の方法
5-1	大気汚染関係施設の配置図
5-2-1~2	大気汚染関係施設の構造図、仕様書等
5-3-1~2	大気汚染関係施設の公害防除機器の構造図、仕様書等
6-1	悪臭を発生する施設の配置図
6-2	悪臭を発生する施設の構造図、仕様書等
7-1	揚水設備の配置図
7-2	揚水設備の構造図、仕様書等
8	土壌汚染調査 計量証明書
9-1	廃棄物発生フロー
9-2	廃棄物の保管場所
10	事故時の組織体制
11	緑地平面図



## 1. 事業所の計画

### (1) 会社の概要

本社	〇〇〇株式会社
本社所在地	〇市△△町××番地
代表者氏名	代表取締役 □ □ □ □
連絡先	△△支店□□課長 〇〇〇〇 電話〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 内線(〇〇〇)
資本金	〇〇〇〇〇万円(平成〇〇年××月末現在)
業種	××業 ××業 ××業
総従業員数	〇〇人

### (2) 事業所の概要

建設予定場所	戸市△△町××番地
用途地域	〇〇地域
建設予定地の周辺図	別添1-1
敷地面積	〇〇〇m <sup>2</sup>
建築面積	〇〇〇m <sup>2</sup>
建ぺい率	〇〇%
工事予定期間	平成△△年〇〇月～平成△△年〇〇月
操業開始予定年月	平成△△年〇〇月
事業内容	□□□□□の製造 □□□□□の組立て □□□□□の展示及び販売 その他上記に係る事務
操業日・時間	月曜日～土曜日(ただし、第2・4土曜日は休業) 8:30～17:15
建築物の配置等	配置図 別添1-2-1 平面図 別添1-2-2 立面図 別添1-2-3

(3) 設備投資

区 分	金 額
土地取得費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
建屋建築費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
機械類購入費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
環境保全対策費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
うち 公害対策費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
緑化費	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
その他	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
その他 ( )	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
合 計	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円

(4) 使用水量等

水源別用水量

水 源	使用量
上水道	〇〇m <sup>3</sup> /日
地下水	〇〇m <sup>3</sup> /日
その他 ( )	〇〇m <sup>3</sup> /日
合 計	〇〇m <sup>3</sup> /日

用途別用水量

用 途	使用量
原料水	〇〇m <sup>3</sup> /日
ボイラー用水	〇〇m <sup>3</sup> /日
冷却用水	〇〇m <sup>3</sup> /日
雑用水	〇〇m <sup>3</sup> /日
その他 ( )	〇〇m <sup>3</sup> /日
合 計	〇〇m <sup>3</sup> /日

(5) 電力・燃料使用量

区 分		使用量
電力使用量		〇〇kwh
燃 料 使 用 量	重油	〇〇ℓ/日
	灯油	〇〇m <sup>3</sup> /日
	ガス (都市ガス)	〇〇m <sup>3</sup> /日
	ガス (LPG)	〇〇m <sup>3</sup> /日
	その他 ( )	〇〇m <sup>3</sup> /日

(6) 主な原材料・生産品

原材料

種 類	使用量
木材	〇〇 t/月
接着剤	〇〇 t/月
塗料	〇〇 t/月
…	
…	

生産品

種 類	生産量
△△部品	〇〇 t/月
××部品	〇〇 t/月
□□部品	〇〇 t/月
…	
…	

(7) 生産工程

△△部品	別添 1 - 3
××部品	〃
□□部品	〃

(8) 生産設備等

別添 1 - 4

(9) 搬入・搬出車両数

搬入車両

種 類	台 数
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トンローリー	〇台/日
...	
合 計	〇台/日

搬出車両

種 類	台 数
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トントラック	〇台/日
〇〇トンローリー	〇台/日
...	
合 計	〇台/日

## 2. 環境保全対策

### (1) 基本方針

(公害の防止、廃棄物の排出の抑制、自然環境の保全、用水・エネルギー利用の効率化、地球温暖化防止などについて、法律等の基準を遵守することはもとより、自主的に環境への負荷を低減させ、良好な環境をめざす取組方針を記述する。)

### (2) 環境保全体制

別添2

(3) 水質関係

水質汚濁関係施設

名 称	水洗ブース	浄化槽	…
種 類	金属製品製造業の 廃ガス洗浄施設	浄化槽	
能 力 等	形式	〇〇〇製 ××-△型	□□製 ××タイプ
	能力	処理風量：300m <sup>3</sup> /min	20人槽
	汚水等の 汚染状態、 量	汚水量 ××m <sup>3</sup> /日 PH ××～×× BOD ××mg/l COD ××mg/l SS ××mg/l … ××mg/l	汚水量 ××m <sup>3</sup> /日 PH ××～×× BOD ××mg/l COD ××mg/l SS ××mg/l … ××mg/l
	汚水等の 処理方式	活性汚泥、凝集沈殿、 中和処理	活性汚泥処理
構造図、仕様書等	別添3-3-1	別添3-3-2	
法令による規制	特定施設（水濁法施行令 別表第1の63-ホ）	なし	

規制値・保証値

区 分		排水口 A		排水口 B	
排水量		△△m <sup>3</sup> /日		△△m <sup>3</sup> /日	
水 質		規制値	保証値	規制値	保証値
生 活 環 境 項 目	水素イオン濃度 (pH)		5.8~8.6		○~○
	生物学的酸素要求量 (BOD)		20		××
	化学的酸素要求量 (COD)		20		××
	浮遊物質 (SS)		20		××
	ノルマルヘキサン抽出物質 (鉱油類含有量)		2		××
	〃 (動植物油脂類含有量)		10		××
	フェノール類含有量		0.5		××
	銅含有量		1		××
	亜鉛含有量		1		××
	溶解性鉄含有量		5		××
	溶解性マンガン含有量		5		××
	クロム含有量		1		××
	大腸菌群数		日間平均1,500		××
窒素含有量		60		××	
りん含有量		8		××	

汚水処理フロー

別添3-1

施設の配置図

別添3-2

用水・排水の経路図・排水口位置

別添3-3

(4) 騒音・振動関係

騒音・振動発生施設等

名 称	平面研削機	集塵用ブロワ	汚水処理用ブロワ	…
種 類	金属加工機械 (研磨機)	送風機	送風機	
台 数	3	1	1	
能 力 等	形式	○○○製 ××-△型	○×製 ××型	□□製 △-△型
	能力	15kw	37.5kw	3.7kw
	騒音レベル	85dB(機側 1m)	85dB(機側 1m)	75dB(実測)
	振動レベル	65dB(機側 1m)	65dB(機側 1m)	60dB(実測)
構造図、 仕様書等	別添 4-2-1	別添 4-2-2	別添 4-2-3	
法令による 規制	条例 (騒)	騒規法 条例 (振)	条例 (騒) 条例 (振)	

規制値・保証値

騒規法 規制値		保証値	予測値
敷 地 境 界	8 ~ 19時	70 dB	65 dB
	19 ~ 22時	65 dB	60 dB
	6 ~ 8時	65 dB	60 dB
	22 ~ 翌6時	60 dB	50 dB

振規法 規制値		保証値	予測値
敷 地 境 界	7 ~ 20時	70 dB	65 dB
	20 ~ 翌7時	65 dB	60 dB

施設の配置図

別添 4-1

騒音・振動防止の方法

研磨機 別添 4-3-1 に記載。  
 送風機 (集じん機用) 別添 4-3-2 〃。  
 送風機 (汚水処理用) 別添 4-3-3 〃。

(5) 大気関係

大気汚染関係施設

名称	ボイラー	塗装ブース	…
種類	ボイラー (炉筒煙管方式)	塗装施設	
能力等	形式	〇〇〇製 ×-123 型	□□製 ××型
	能力等	伝熱面積 45 m <sup>2</sup> バーナー燃焼能力 1000/h 排出ガス量 湿り 1250 m <sup>3</sup> N/hr 乾き 1120 m <sup>3</sup> N/hr 使用燃料 A重油	寸法 L 3m H 2.5m D 3.3m 送風機の送風能力 120,000 m <sup>3</sup> N/hr
	排気口高さ	16m (口径 φ 60cm)	5m (口径 50cm×60cm)
構造図、仕様書等	別添 5-2-1	別添 5-2-2	
法令による規制	大防法 (ばい煙)	大防法 (VOC)	
大気汚染防止の方法	下記の機器を設置する。 マルチサイクロン 〇〇社製 ABC-123 型 処理風量 〇m <sup>3</sup> /min 処理効率 ××% 構造等は、別添 5-3-1 のとおり	下記の機器を設置する。 水洗スクラバー 〇〇社製 △-456 型 処理風量 〇m <sup>3</sup> /min 処理効率 ××% 構造等は、別添 5-3-2 のとおり	

規制値・保証値

大防法 規制値		保証値	
ボイラー	ばいじん	0.3g/m <sup>3</sup> N	0.1g/m <sup>3</sup> N
	硫黄酸化物	9 (K 値)	50ppm
	窒素酸化物(O <sub>2</sub> 換算濃度)	150(4%)ppm	80(4%)ppm
有害物質	〇〇〇	××mg/m <sup>3</sup> N	××mg/m <sup>3</sup> N
	×××	××mg/m <sup>3</sup> N	××mg/m <sup>3</sup> N
	…	…	…
塗装ブース	VOC	400ppmC	300ppmC

大気汚染関係施設の配置図

別添 5-1



(6) 悪臭関係

悪臭を発生する施設

名 称		塗装ブース	…	…
備 考	悪臭物質等	トルエン等の有機溶剤		
	使用量	〇〇kg/月		
	排気量	〇〇m <sup>3</sup> /min		
構造図、 仕様書等		別添 6 - 2		

施設の配置図

別添 6 - 1

悪臭防止の方法

塗装施設

排ガス洗浄装置及びミスト除去フィルターを設置  
臭気の少ない水性塗料への転換を検討している。

規制値・保証値

悪防法 規制値		保証値
敷地境界	臭気指数 1.8	臭気指数 1.5

(7) 地盤沈下関係

揚水設備 有無・吐出口の断面積・用途・揚水量

名称	用途	揚水量	吐出口断面積	ストレーナ位置
井戸 No.1	雑用水	〇〇m <sup>3</sup> /日	〇〇m <sup>2</sup>	〇〇m
井戸 No.2	雑用水	〇〇m <sup>3</sup> /日	〇〇m <sup>2</sup>	〇〇m
…				
…				
…				

設備の配置図

別添 7 - 1

設備の構造図

別添 7 - 2

(8) 土壌汚染関係

計画用地の土壌汚染調査の有無・結果

平成〇〇年〇〇月〇〇日 土地取得にあたり実施。

結果については、別添 8 計量証明のとおり。

搬入土壌の有無・調査結果等

・工場設置に伴う土壌改良時に下記土砂を搬入。

搬入元	搬入業者
〇〇市〇〇町地内 建設残土	〇〇運輸有限会社
△△株式会社販売のリサイクル材	株式会社××建材
...	

・搬入土についての土壌調査は行っていない。

理由 搬入元がはっきりしており、汚染がないことの保証を受けたため。

廃止の際の土壌汚染の防止の方法

有害重金属等は一切取り扱わない。

上記土壌汚染調査の結果及び搬入土砂の明細を売買時に添付し、汚染のないことを保証する。

(9) 廃棄物関係

廃棄物の種類・量・処理の方法

区分	種類	発生量	処理方法
一般廃棄物	紙くず	〇〇kg/月	〇〇〇株式会社に処理委託
〃	食品残渣	〇〇kg/月	×××株式会社に処理委託
産業廃棄物	金属くず	〇〇kg/月	〇〇〇株式会社に売却
〃	廃油（切削廃油）	〇〇kg/月	△△株式会社に処理委託
〃	廃プラスチック	〇〇kg/月	株式会社×××に処理委託
特別管理産業廃棄物	廃酸・廃アルカリ	〇〇kg/月	〇〇〇株式会社に処理委託
...			

廃棄物の一時保管の方法

種類	保管方法
紙くず	保管室 X に保管
食品残渣	集積場所 Y に保管 (種類ごとにコンテナを使用)
金属くず	〃
廃油	〃
廃プラスチック	〃
廃酸・廃アルカリ	ケミカルドラム缶に保管
...	

廃棄物の発生・処理フロー 別添 9-1

廃棄物の一時保管の場所 別添 9-2

廃棄物の減量・再生利用について

基本的方針

(廃棄物の減量、発生抑制、再利用などについて、法律等の基準を遵守することはもとより、継続的に達成を目指す、企業の具体的な方針を記述する。)

具体的取組み

(上記方針を具体化する取組みを記述する。)

(10) 特定化学物質関係

種 類	用 途	保管量	使用量	保管方法
トルエン	塗装	〇〇ℓ	〇〇ℓ/月	保管庫に保管。
キシレン	塗装	〇〇ℓ	〇〇ℓ/月	保管庫に保管。
...				

(11) 地球温暖化防止関係

基本的方針

(地球温暖化の防止について、排出ガス抑制や省エネルギー製品の使  
用・製造など、継続的に達成を目指す、企業の具体的な方針を記述す  
る。)

具体的取組み

(上記方針を具体化する取組みを記述する。)

(12) 啓発・教育関係

従業員教育の基本的方針

(環境保全、公害防止に関して行う従業員の啓発・教育について、継  
続的に達成を目指す、企業の具体的な方針を記述する。)

関連企業の指導・監督の基本的方針

系列会社について

(環境保全、公害防止に関して行う系列会社の指導・監督につい  
て、継続的に達成を目指す、企業の具体的な方針を記述する。)

下請会社について

(環境保全、公害防止に関して行う下請会社の指導・監督につい  
て、継続的に達成を目指す、企業の具体的な方針を記述する。)

(13) 緊急時の対応

事故発生時の対応方針

(事故発生時の対応について、周辺環境への被害の拡大防止など、迅速な対応を行うための企業の具体的な方針を記述する。)

事故発生時の組織体制

別添 1 0

(14) 緑化関係

緑地面積

〇〇〇m<sup>2</sup>

種 類	面 積
芝生 A	000 × 000 = 000 m <sup>2</sup>
B	000 × 000 = 000 m <sup>2</sup>
C	000 × 000 = 000 m <sup>2</sup>
植栽 A	000 × 000 = 000 m <sup>2</sup>
B	000 × 000 = 000 m <sup>2</sup>
...	
合 計	〇〇〇m <sup>2</sup>

緑化率

〇〇%

$$\text{緑地 } 〇〇〇\text{m}^2 \div \text{敷地面積 } 〇〇〇〇\text{m}^2 = 〇〇\%$$

緑地平面図

別添 1 1